

## 作者のことば

もっとくわしく  
知りたい方へ

展示作品の中から厳選してご紹介いたします。



麻生隆悟 1973年生まれ 千葉県出身

日々の生活を書き示す行為に「日記」があり、書いている人にとっては、それが日常であり、生活の一部だと思います。私は、生活に溶け込むように絵画を描きたい思いがあり、日々の出来事や想いを「窓」に置き換えて描いています。窓から望む景色が私のすべての視点で、ありとあらゆる物や動植物、時には何かをしている行為もモチーフとなります。小さな窓が重なる様子は、私の日常の重なりとなり、私にとっての「日記」になればと思っています。「日記」を毎日書くように私は「窓」を描き続けます。

この作品は、卒業制作と修了制作に描いた作品で、私にとって、とても思い入れが強い作品です。卒業制作では気合を入れてパネルから作りしました。どちらの作品も画面の真真中にサボテンが描かれていて、小さい頃から描いていた「空想のサボテン」から始まります。お気に入りのモチーフです。元来ずぼらな性格の私なので、この2枚の作品以降150号は描いていません。私の描いた最大の作品となり、描いているモチーフの数も膨大な量になり覚えていませんが、すべてのモチーフが被らないように描いています。しかし、卒業制作ではうっかりミスで同じモチーフがひとつだけあるんです。そして、空想の虫なども描いています。作品を離れて見た時に全体が統一された画面や色調で見る楽しさ。近くで見た時の発見する楽しさ。見方は人それぞれだと思いますが、楽しんでいただけると幸いです。

鈴木祐斗 1993年生まれ 愛知県出身

この作品は、僕がよく行く古い熱帯魚ショップを描いた作品です。そこは入ると少し薄暗く、むき出しのコンクリート、コード類、ポロポロの壁面、傷ついた床…そんな年季を感じさせる要素が沢山ある中で、水槽の中がひととき美しく魅力的に見えました。それはまるで、水槽の深い青色以外は全てグレーに見えてしまうような、そんな不思議な感覚でした。その瞬間を切り取って、ずっと眺めていたいと思い、制作しました。

自分が魅力的だと思った景色も、他の人にとってはそうでもない、という事はよくありますが、”自分のフィルター”を通して見た景色を画面に投影する事で、第三者ともその感覚を共有できる所が、絵の素晴らしい所だと思います。

使用した岩絵具という画材は、宝石や鉱石を砕いて粉末状にしたものを、膠水と混ぜて使用します。岩絵具の具そのものが持つ色の発色はとても美しく、それらが何層にも重なってあらわれる表面のマチエールは、他の画材では表現できない独特の雰囲気になります。

\*膠水：膠（動物の骨などを煮出しコラーゲンを濃縮し固めて乾燥させたもの）を水と混ぜ湯煎で溶かしたもの。

勝又優 1994年生まれ 静岡県出身

この作品は実風景を元に構成しており、壁面のタイルの魚とその前を行き交う人々の重なりを描いています。抽象化されたタイルの魚と行き交う人々が重なる瞬間、切り取られた形の複雑さや色調質感の対比が生まれ、それぞれ単体で見た時とは違った印象を受け、この場所に興味を惹かれました。賑やかなタイルで彩られた壁面と落ち着いた様子で行き交う人々、双方の魅力を引き出し、互いに響き合っているようなそんな絵にしたいと思いながらこの「水壁」を制作しました。

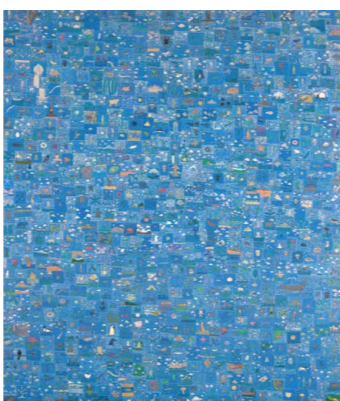
鈴木萌恵子 1996年生まれ 千葉県出身

何事にも揺さぶられることの無い心の象徴をイメージした作品です。様々なことを受け入れ、落ち着いて生きていく心の余裕を持った存在を木材を積み上げて作りしました。

自然に生えている木々ではなく加工された角材という、ある程度人工の手が加わった形状にこれからの変化が行われる魅力を感じます。あえて加工はせずに乾燥させるため積み上げてできた木材の塊の存在感を象徴として置いています。



麻生隆悟《窓》2001年



麻生隆悟《窓》1999年



鈴木祐斗《透明の色》2019年



勝又優《水壁》2021年



鈴木萌恵子《それ》2020年

帝京大学総合博物館企画展 みんなでたのしみあーと  
「窓からはじまる探検！」展覧会解説ガイド

イラスト、デザイン：進士遙、編集・発行：帝京大学総合博物館  
発行日：2021年6月19日

TUM  
TECHNISCHE  
UNIVERSITÄT  
MÜNCHEN



の

たんけん  
ひ  
探検した日： 月 日

まど

たんけん

しょ

# 窓からはじまる探検の書！



## たんけん 探検のたのしみかた！

ようこそ！

まずは、展示室のなかで上の絵（麻生隆悟さんが描いた《窓》という絵）をさがそう！いろいろないきものが描かれているよ。まずは絵の中から好きないきものをえらんでね！おきにいはみつかったかな？そして上、下、左、右と目をうごかして絵のすみずみまで探検！家族やお友だちにみつけたことをおしえてあげよう！

じっくり《窓》の世界を探検したら、へやをみわたして、きになった絵をみつけてその前に立ってみよう！近づいて、少しはなれて、右から、左から、立ったり、すわったりしながら絵のなかを探検！

たくさんある絵のなかを探検する順番はあなた次第！でももし迷子になったら、次ページの地図をひらいてみよう！

たんけん しゅっぱつ  
それでは、探検へ出発！



いったことあるところはあ？  
よこ  
あと横もみて！



峰尾有紀《SVO》2003年



川目七生《街角男女備忘録》2021年

あるひと  
歩く人のおくには  
なに  
何がえがかれている？



勝又優《水壁》2021年

まちからはどんな音がきこえて  
きそう？ねこもおさんぽ中。



志田展哉《1999←TRAVEL→2000》  
2000年

ちず なか  
地図の中のみんなは何を感じているのかな？  
なに かん  
おも かんが  
みんなだったらおもう思う？考えてみよう！



熊谷直人《森》2005年



大塚綾子《風物詩》2004年

メモリーはおもいで  
のこと。どんなおもいでが  
えがかれている？



馬場直通《The Entrance Of Memory》  
2001年

まちなかたんけん！

なに  
みんな何をしているんだろう？

しぜんのなかたんけん！

つき...  
ほかに何をもつけた？  
きせつ  
季節はいつごろだろう？

はな さ  
お花が咲いている？  
み  
それとも実がなっている？



鈴木萌恵子《それ》  
2020年

ふしぎなせかい  
たんけん！

たくさんの木。  
どうしてこうやってえがいたんだろう？

あさ  
朝？それとも夕方？  
ゆうがた  
天気はどうだろう？  
てんき  
ひと  
人はいそう？



笠原宏隆《記憶の街》2001年

うごいてる？ながれてる？  
ひと  
人のほだみたい...？！



山ノ内陽介《Untitled II》2021年

とり...？  
くろ  
黒いところも  
よくみて！

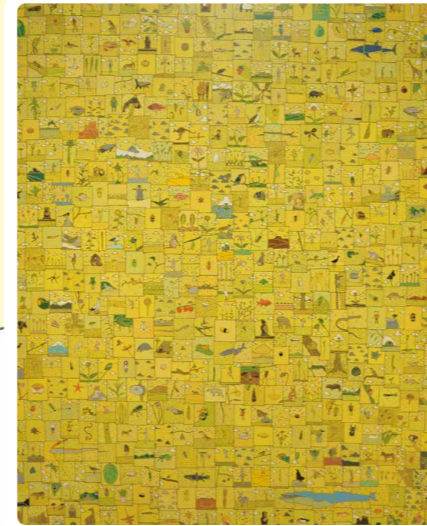


山ノ内陽介《Untitled I》2021年

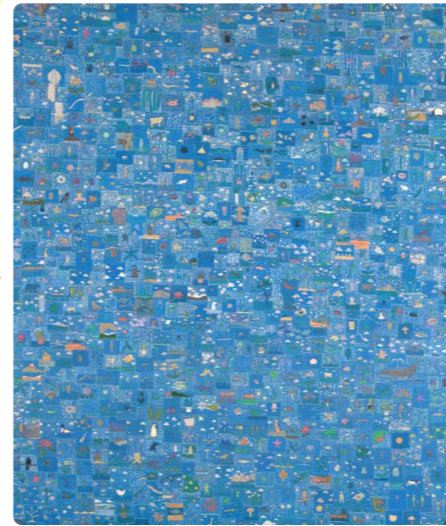
すい  
なんで水そうの色  
いろ  
ちがうだろう？

へやのなかたんけん！

え  
絵のまんなかにはどっち  
もサボテン。ほかには  
いつしょ  
どんなところが一緒？



麻生隆悟《窓》2001年



麻生隆悟《窓》1999年

なんじ  
何時ごろかな？



鈴木祐斗《透明の色》2019年

あれ？よくみたら時計の  
すうじ  
数字がぎゃく？！



スタート  
まどからはじまるたんけん！

まど  
窓からはじまるたんけん  
もいいよいわわり！  
す  
好きな方のひこうきにつて  
また窓をみにいってみよう！

あたらしいはっけんが  
あるかも！



渡辺明鈴香《f(landscape)=□》2006年



飯本裕子《明瞳》  
2011年

ゴール

そしてまどへ...

たんけん ちず  
探検の地図